

Active activity

しま×にじ 通信

Active activityで実施している「しま×にじ」の活動を紹介します。

▶メンバー

市民協働課	杉本	健康づくり課	福島
市民協働課	天草	健康づくり課	大村
市民協働課	藤原	スポーツ振興課	山下
人事課	大石		

しま×にじの活動目的

- ▶職員が性の多様性やジェンダー問題について、正しい知識や考え方をもち、組織内で性別に関わりなく能力を発揮できる環境整備を目指していきます。
- ▶市民に対しても性別・外見などに関わりなく適切な対応を心がけられるよう、グループで意見や考えを深めていきます。

▶ディベートとは

あるテーマについて、対抗する2つのグループがオーディエンス（観客）を説得するために「論理的に」議論すること。

▶目的・目指す姿

相反する主張で議論を交わすなかで、自分の意見を持ちながらも相手の意見を聞き、建設的な話し合いができること。

▶テーマ「人は見かけ（外見）か、こころ（内面）か」



グループは自分の
意思と関係なく
ランダムに振り分
けられます！

「人は見かけ」グループの主張（抜粋）

第一印象は見た目が決まる。
全ての人と深い関係を築くわけ
はないので、ぱっと見の印象のほ
うが大事だ。

自分の理想の姿に近づくために、
まずは外見から寄せることでな
りたい姿になっていく。
（例）スーツを着こなすことで
仕事ができる印象を持たれる。

内面は表情やしぐさとして外にも
出てくるので、結果的に見かけの
よさに繋がるのではないかな。

たとえ整った容姿でなくとも、
身だしなみ次第で「さわやかさ」
などの印象は変えられる。

内面を知るための入口として外見
は重要。見た目の印象が、人との
関係を構築するきっかけになる。

「人はこころ」グループの主張（抜粋）

表情や雰囲気は心がきれいでない
と表れないもの。いくら外見がよ
くても、その人が挨拶を返さない
ような人なら印象は悪くなる。

見かけは生まれ持ったものであり、
少しの努力で変えられるのはむしろ
内面（こころ）のほうではない
か。

心が温かい家庭というのは、代々
子どもにも引き継がれていくもの。

内面が優れた人との関係は、自
分にとって良い影響をもたらし、
成長できるきっかけになる。

長くその人との付き合いを築いて
いくなら、優しさや真面目さと
いった内面が重要になってくる。

参加者の感想・意見（抜粋）

本当の自分の意見とは違う主張をしなければならぬことに難しさを感じた。鋭い尋問にたじたじする場面もあった。

頭を使う体験だった。相手の話を聞き建設的な話をするという意識は、クレーム対応の参考になりそうだった。

「人は内面を重視すべきだ」という考えがあるからこそ、違う意見に対抗する準備が不足していたのが反省点。

ディベートは日本人が苦手とするところがあるが、経験として仕事でも違った意見の人に向き合わなければならない場面がある。今日の体験を活かしたい。